

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立みよし公園		
所在地	三次市四拾貫町神田谷		
設置目的	備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	カルチャーセンター（アリーナ）、温水プール、パークゴルフ場、テニスコート、文化の広場、こども広場、しょうぶ園など		
指定管理者	5期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	みよしよくばりパークパートナーズ
	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	ミズノグループ・星光ビル管理共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ミズノグループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	ミズノグループ
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(株)サンアメニティ

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R6	700,000人	425,782人	△15,144人	△274,218人(60.8%)
		R5	700,000人	440,926人	40,991人	△259,074人(63.0%)
		R4	510,000人	399,935人	22,280人	△110,065人(78.4%)
		R3	500,000人	377,655人	△260,299人	△122,345人(75.5%)
	4期平均H28～R2		705,200人	637,954人	△44,268人	△67,246人(90.5%)
	3期平均H23～H27		706,000人	682,222人	20,786人	△23,778人(96.6%)
	2期平均H20～H22		700,000人	661,436人	△4,865人	△38,564人(94.5%)
	1期平均H17～H19		762,530人	666,301人	3,368人	△96,229人(87.4%)
	H16（導入前）		—	662,933人	—	—
増減理由	・屋外遊具（ふわふわドーム）修繕時の利用停止による減(2024年2月～9月末) ・Bリーグプレシーズンマッチでの利用がなかったことによる減					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】
	アンケートボックス設置（常時）		施設利用者 56人
	【主な意見】		【その対応状況】
	ドッグランを作ってほしい		今後検討課題とする
	子ども広場のバリアフリー化やユニバーサルデザイン遊具の設置、日陰の増設をしてほしい 劣化した園内ベンチを更新してほしい		今後検討課題とする 今後検討課題とする

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報（必要随時）	○	事故等報告書
管理運営会議（随時）		【特記事項等】 施設設備備品の老朽化の対応、魅力ある公園づくりが今後の課題。 【指定管理者の意見】 時代やニーズにマッチした公園づくり、地域・利用者と共につくる公園づくりを進めることが利用者数回復、魅力ある公園へとつながる。	
現地調査（随時）		【県の対応】 「ひろしま公園活性化プラン」を踏まえ、指定管理者と連携しながら公園の魅力向上に努める。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減		
	5 期	R6	123, 678	3, 429		5 期	R6	20, 259	△245		
		R5	120, 249	△2, 313			5 期	R5	20, 504	4, 639	
		R4	122, 562	1, 499				5 期	R4	15, 865	6, 551
		R3	121, 063	12, 316					5 期	R3	9, 314
	4期平均H28～R2		108, 747	2, 956		4期平均H28～R2		22, 097	△2, 689		
	3期平均H23～H27		105, 791	3, 791		3期平均H23～H27		24, 786	1, 717		
	2期平均H20～H22		102, 000	△11, 597		2期平均H20～H22		23, 069	△2, 754		
	1期平均H17～H19		113, 597	△18, 197		1期平均H17～H19		25, 823	813		
	H16（導入前）		131, 794	—		H16（導入前）		25, 010	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目			R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委 託 事 業	収 入	県委託料	123,678	120,249	3,429	光熱水費単価増による県補填額等増加
		料金収入 (※1)	20,259	20,504	△245	工事による利用者数減少による減
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	143,937	140,753	3,184	
	支 出	人 件 費	59,263	56,216	3,047	賃上げによる増
		光熱水費	41,069	38,363	2,706	光熱水費単価増
		設備等保守点検費	14,318	14,445	△127	屋外漏水修繕箇所減による減
		清掃・警備費等	16,224	16,354	△130	レストラン営業再開に伴う清掃範囲の減
		植栽管理	11,415	11,185	230	賃上げによる増
		施設維持修繕費	762	1,048	△286	緊急修繕箇所減
		事務局費	4,350	4,806	△456	運搬費、消耗品費購入の減
		その他	14,225	12,984	1,241	手数料、雑費の増
		計(B)	161,626	155,401	6,225	
		収支①(A-B)	△17,689	△14,648	△3,041	
自 主 事 業 (※2)	収 入(C)	22,768	22,854	△86		
	支 出(D)	18,002	18,929	△927	水泳教室規模縮小による講師料の減、消耗品購入の減	
	収支②(C-D)	4,766	3,925	841		
合計収支(①+②)			△12,923	△10,723	△2,200	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	「備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興に資する」ため、施設整備・修繕・点検を実施した。各種イベントの開催のほか、地元高校生によるロビーコンサートや大学生と連携して謎解きイベントを開催した。 フリーWi-Fiの増設やトレーニング設備の更新、レストランの再開など、公園の魅力向上に取り組んだ。 SNS、ケーブルテレビでの情報発信のほか、ドッグランの特設により新たな利用者の取り込みを図った。 年間計画に沿った機械設備の各種点検業務を実施、必要箇所は修繕・設備更新を行ったほか、危険樹木の伐採等を行った。	各種スクール・イベントの開催により文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興を図った。 利用者ニーズを取り入れた設備更新により、効率的なサービス向上を図った。 積極的な情報提供により、公園の利用促進を図った。 日々の定期点検の結果を施設の維持管理に反映させ、利用者の安全性や満足度を高めた。
	○業務の実施による、県民サービスの向上		
	○業務の実施による、施設の利用促進		
	○施設の維持管理		
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	構成企業や委託業者との定期的なミーティングなどで体制検討を行い、業務の棚卸など、適切な体制・人員配置となるよう改善を図った。 キャッシュレス決済の導入により、事務業務を効率化した。 Bリーグプレシーズンマッチの中止等大型イベントの中止や公園使用団体の高齢化による解散などによる利用減少による影響が発生した。	適切な人員配置や密な情報共有を通して、組織全体の危機管理能力を底上げし、新型コロナ5類移行に伴う行動制限の緩和による利用拡大にも対応できる業務体制を構築した。 デジタル技術の導入により、効率的な業務運営を図った。
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正		
総 括		大型イベントの中止やふわふわドームの長期運転停止等により、利用者が減少した。一方、その他の大会等や自主事業により、利用者は増加傾向にある。 地元のスポーツ団体や高校生、大学生と連携し様々なイベントを行うことで、地域のニーズに応えながら、魅力の増進を図ることが出来た。	新型コロナ5類移行に伴う行動制限の緩和以降続く、利用拡大に対応し、適切に管理運営を行った。 新たな取組や積極的な情報発信、適切な施設・備品の更新により利用拡大を図った。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	利用者を目標数に達するべく、引き続きSNS等を活用した広報、利用案内、大会誘致や、スクール、イベント、大会などの自主事業を実施する。	指定管理者と連携し、「ひろしま公園活性化プラン」を踏まえた魅力向上に努めるなど、利用促進を図る。
中期的な対応	時代の流れや利用者ニーズを常に把握し、様々な年代・多様なニーズに応えることのできる公園づくりを実施する。特に地域住民や企業・団体が日常的に来園する公園づくり、地域と共につくる公園となることが、よりみよし公園の活性化につながる。	○利用者から高い満足度を得て、魅力向上し続ける公園となるよう、指定管理者と緊密な連携を図っていく。 ○長寿命化計画や長期修繕計画に基づき適切に施設の修繕等を実施する。